

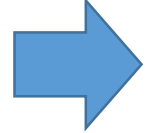
令和2年度地方創生推進交付金事業

「みたけ人」の人材育成を核とした
御嵩の魅力情報発信促進事業

事業概要

令和2年度 地方創生推進交付金事業実施計画

※前身事業「**みらいのみたけ人育成推進事業**」は本年度をもって実施期間終了



継続的な事業実施には**事業の深化・高度化**が必須

<参考：国により示されている交付金Q&A>

Q. 2016年度に交付決定を受けた横展開タイプの事業については2018年度で事業が終了するが、2019年度において、再度申請することは可能か。

A. 申請は可能であるが、まったく同じ事業内容のままでは交付対象とならない可能性が高い。PDCAサイクルによって、事業を評価・分析のうえ、新規事業として申請し、過去の事業の深化・高度化（発展的解消・後継事業の創出）のための事業である必要がある。このため、前身事業と類似の経費を計上する場合には、例えば、ターゲット、内容、事業の進め方等が前身事業と明らかに異なっている点を記載し、新たな事業を実施していることが経費内訳から読み取れるようにすること。また、KPIについても前身事業との比較において、改善された中身・水準とすること。



- ・継続的な人材育成を目的としては**事業採択の見込みは低い**
- ・前進事業での課題を踏まえた内容とする必要がある



「みたけ人」の人材育成を核とした御嵩の魅力情報発信促進事業 を計画し、

実施計画を内閣府へ提出済（1/21）

●国による審査結果は3月下旬に公表予定（審査結果により事業実施可否が決定）

「みたけ人」の人材育成を核とした 御嵩の魅力情報発信推進事業

実施事業案

新たな事業においては、各団体が連携した相乗効果を生むような情報発信を行うため、各事業団体だけでなく、地域住民や関係人口、地元企業を巻き込んで**情報発信主体としてのインフルエンサーの育成**に取り組む。

《前身事業との実施事業の比較》

no	「みらいの「みたけ人」育成推進事業」の各事業	継続予定
1	みたけ創生みらいの人材育成協議会等運営事業	継続
2	地域課題解決型キャリア教育事業	継続
3	御嵩あかでんランド運営補助事業	
4	みたけのええもん雇用創出事業	継続
5	みんなのみたけファンディング活用事業	
6	外部人材招聘事業	継続
7	ITプログラミング人材育成事業	継続
8	環境教育事業	継続
9	宿場まち人材育成事業	



「みたけ人」の人材育成を核とした 御嵩の魅力情報発信推進事業

実施事業案

みたけ創生みらいの人材育成協議会 等運営事業

各事業間連携と効果的な情報発信を進めるための協議会として実施する。

ITプログラミング人材育成事業

各事業効果を高めるためのアプリ開発等を実施し、多様な情報発信の展開を目指す。

体験型キャリア教育事業

体験型のキャリア教育とし、企業が雇用確保に繋げるための的確な情報発信を促進するとともに、高校生が就労に関して情報を正しく受信し、発信する力を育む。

外部人材招聘事業

読み聞かせ人材の育成から変更し、「戦国武将の語り部」育成のための講座、研修会を実施。

みたけのええもんを媒体とした シティプロモーション事業

特産品普及開発協議会のさらなる自走を目指しながら、みたけのええもんを媒体としたシティプロモーションによる魅力発信に取り組む。

循環型エネルギー学習事業

SDGs 未来都市・環境未来都市、環境モデル都市の森林をフィールドに、木材を中心とした循環型エネルギーの学習を通じた環境人材の育成と独自の環境情報の発信を展開する。

「みたけ人」の人材育成を核とした 御嵩の魅力情報発信推進事業

事業体系図

みたけ創生みらいの人材育成協議会等運営事業

- ・ 事業間連携
- ・ 効果的な情報発信

ITプログラミング人材育成事業

- ・ 下の4事業の効果を高めるための情報発信媒体の整備（アプリ開発）

体験型キャリア教育事業

- ・ 地元企業による魅力情報の発信
- ・ 高校生の正しい情報受信・発信

外部人材招聘事業

- ・ 観光情報や町史、戦国武将等の魅力を正しく広く発信
- ・ 語り部育成

みたけのええもんを媒体としたシティープロモーション事業

- ・ シティープロモーションによる魅力情報の発信
- ・ 販路拡大

循環型エネルギー学習事業

- ・ 木材の循環を中心とした独自の環境情報の発信
- ・ 環境人材の育成